

# WebExコール専用のオーディオコーデックを使用したSIPローカルゲートウェイの設定

## 内容

---

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

---

## 概要

このドキュメントでは、ビデオコーデックがINVITEメッセージの一部としてサポートされていないことがITSPによって通知され、統合がSession Initiation Protocol(SIP)を介して実行される場合に、ビデオコーデックをIP Telephony Service Provider(ITSP)に転送しないようにCisco Unified Border Element(CUBE)を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco WebEx Calling (旧BroadCloud)
- Cisco Unified Border Element (CUBE)

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Cloud Service Router(CSR)1000v
- Cisco Internetwork Operating System(Cisco IOS® XE)17.03.04a

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

WebEx Calling、ローカルゲートウェイ(LGW)、およびITSPの間の統合がすでに確立され、機能していることを前提としています。

## 設定

ステップ 1 : デバイスのコンフィギュレーションモードへのアクセス :

```
device# configure terminal
```

ステップ 2 : voice service voip設定モードに移動します。

```
device(config)# voice service voip
```

ステップ 3 : SIPサブ設定モードに移動します。

```
device(conf-voi-serv)# sip
```

ステップ 4 : sipサブコンフィギュレーションモードでaudio forced機能を有効にします。

```
device(conf-serv-sip)# audio forced
```

## 確認

ビデオコーデックがITSPに送信されていないことを確認するには、次のデバッグを有効にして、ITSPに提供されるINVITEを確認します。

```
device# debug ccsip messages
```

例 :



Sent:

INVITE sip:123456@X.X.X.X:5061;transport=tl;dtg=XXXXX SIP/2.0  
Via:SIP/2.0/UDP X.X.X.X:8934;  
From:"Caller"<sip:987654@X.X.X.X>;tag=AC42468-22E3  
To:<sip:123456@25105600.eu10.bc1d.webex.com>;tag=soos4o7b  
Call-ID:726BDDE6-7DCE11EC-BC5BC09B-9E9BA404@X.X.X.X  
CSeq:100 INVITE  
Contact:<sip:X.X.X.X:8934;transport=udp>  
P-Asserted-Identity:"Caller"<sip:123456@X.X.X.X;user=phone>  
Privacy:none  
Allow:ACK,BYE,CANCEL,INFO,INVITE,OPTIONS,PRACK,REFER,NOTIFY,UPDATE  
Accept:application/media\_control+xml,application/sdp,multipart/mixed  
Supported:  
Max-Forwards:69  
Session-ID:86acc1810080432799428436deb94327;remote=00000000000000000000000000000000  
Content-Type:application/sdp  
Content-Length:1241

v=0

o=Agent IN IP4 X.X.X.X

s=-

c=IN IP4 X.X.X.X

b=AS:4064

t=0 0

m=audio 36796 RTP/SAVP 99 9 8 0 18 101 108

b=TIAS:64000

a=rtpmap:99 opus/48000/2

a=fmtp:99 maxplaybackrate=16000;sprop-maxcapture=16000;maxaveragebitrate=64000;stereo=0;sprop-ster

a=rtpmap:9 G722/8000

a=rtpmap:8 PCMA/8000

a=rtpmap:0 PCMU/8000

a=rtpmap:18 G729/8000

a=fmtp:18 annexb=no

a=rtpmap:101 telephone-event/8000

a=fmtp:101 0-15

a=rtpmap:108 telephone-event/48000

a=fmtp:108 0-15

a=ptime:20

a=sendrecv

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定の情報はありません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。